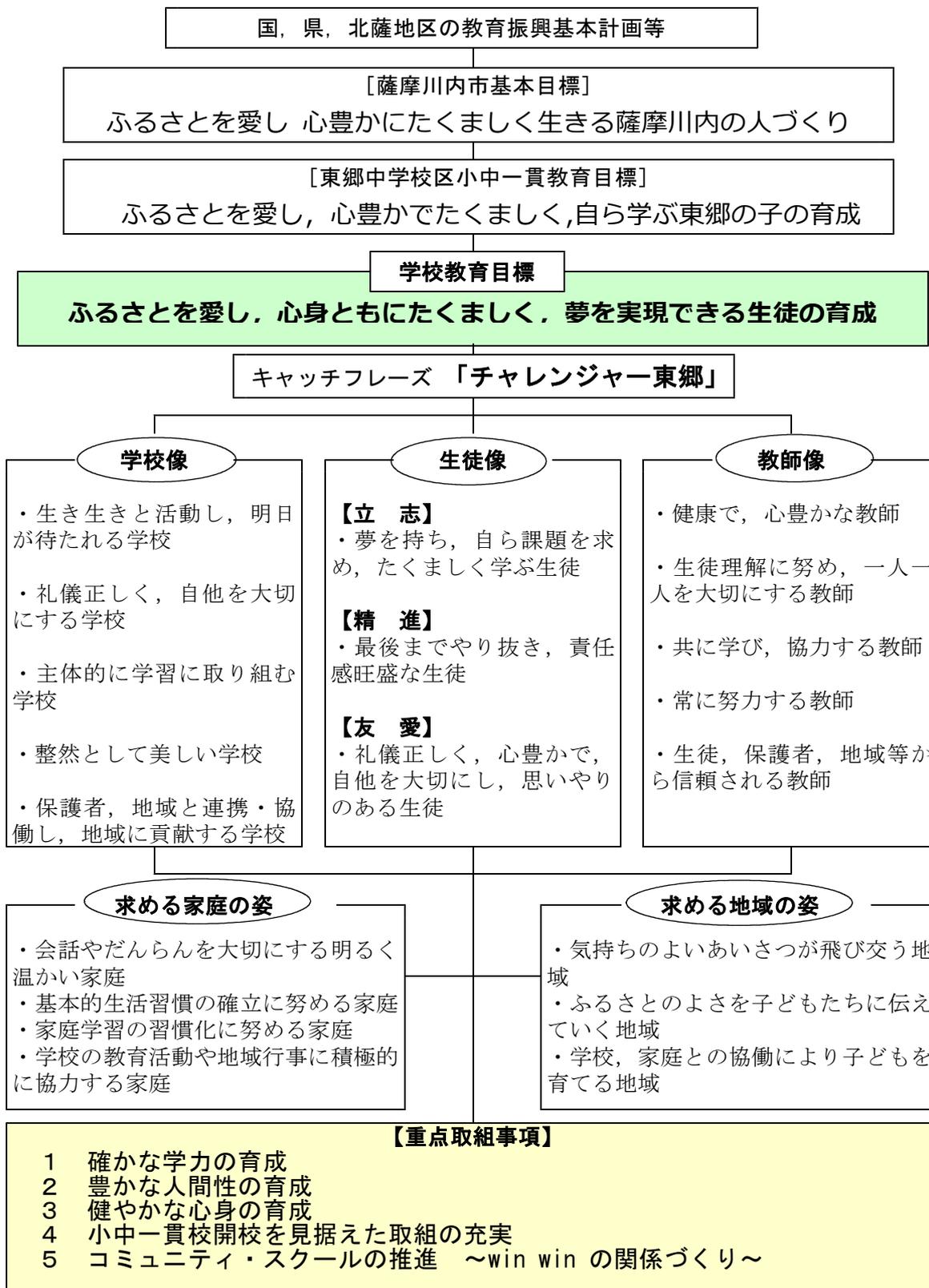


平成29年度 学校経営の概要

I 学校経営の基本方針

人権尊重の精神を基盤に、コミュニティ・スクールとして保護者、地域、小学校と連携・協働し、生徒の自己肯定感を向上させ、キャリア教育を推進する。

II 学校教育目標



Ⅲ 努力点と具体策

1 確かな学力の育成

- (1) 東郷中学校学力向上アクションプランによる確実な取組
 - ※ 主体的・対話的で深い学びを実践し、諸検査での数値目標の達成を目指す。
 - ア 教師の説明2割カット（生徒が主体的に活動する時間の確保）
 - イ ペア，グループ学習等，学習形態の工夫（生徒の主体的な課題解決）
 - ウ 自分の考えを相手に分かりやすく表現する場の工夫（言語活動の充実）
 - エ 「振り返る」活動の工夫（自己評価・相互評価の充実）
 - オ 個に応じた学習指導の推進（学校応援団の積極的活動）
- (2) 研究授業をとおした全職員参加の研修の充実
- (3) 見せ合い，学び合いによる授業力向上（オープンな授業参観）
- (4) 学年×10+30分運動の推進（家庭，小学校との連携）

2 豊かな人間性の育成

- (1) 「見つめる，思いをめぐらす，向き合う」を基本とした積極的な生徒指導態勢の確立及び共通理解・共通実践
- (2) 自他を大切にできる態度の育成（グループエンカウンター等を活用した仲間づくりの充実）
 - ※ 学校が楽しくないと感じる生徒をゼロにし，不登校ゼロの達成を目指す。
- (3) 道徳教育の充実（「道徳の時間」の時間確保と完全実施，小学校との乗入れ授業の実施）
- (4) いじめ・不登校等の未然防止，早期発見と対応（情報の共有化及び関係機関等とのチームプレイ）
- (5) 保護者，地域との連携・協働による豊かな体験活動の充実
- (6) 読書活動の充実

3 健やかな心身の育成

- (1) 健康・安全意識の高揚と危険予知能力の育成
- (2) 個に応じた体力・気力づくりの習慣化
 - ※ 体力づくり年間計画に基づき体力向上を目指す。
- (3) 家庭，地域との連携，協働による情報モラル教育の充実（通信機器使用の確実なルール設定）
- (4) 学校保健委員会の活性化と健康・安全活動の実践
- (5) 給食指導の徹底と食農教育の推進
- (6) 性に関する指導の推進

4 小中一貫校開校を見据えた取組の充実

- (1) 小中一貫教育の計画的な実施と活動の充実
 - ア 9か年を見通したふるさと・コミュニケーション科の指導内容の見直しと体系化
 - イ 教科での9か年指導計画の作成と実践
 - ウ 教員一人1回以上の授業交流の実施（中期での教科担任制の研究の充実）
 - エ 小学校との連携による各種行事の推進（姿勢チェック週間，学習強化週間等）
- (2) 施設一体型小中一貫校に関する研究の推進

5 コミュニティ・スクールの推進 ～win win の関係づくり～

- (1) 学校運営協議会の機能化及び活性化
- (2) 学校応援団の活用による地域活性化の促進
- (3) 地域行事への参加及び企画段階からの参画（ふる・コミ科，土曜授業等の活用）
- (4) 地域住民との関係づくり及び地域課題解決への参画（ふる・コミ科，土曜授業等の活動）